

# 令和6年度事業計画

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター

## 第1 事業方針

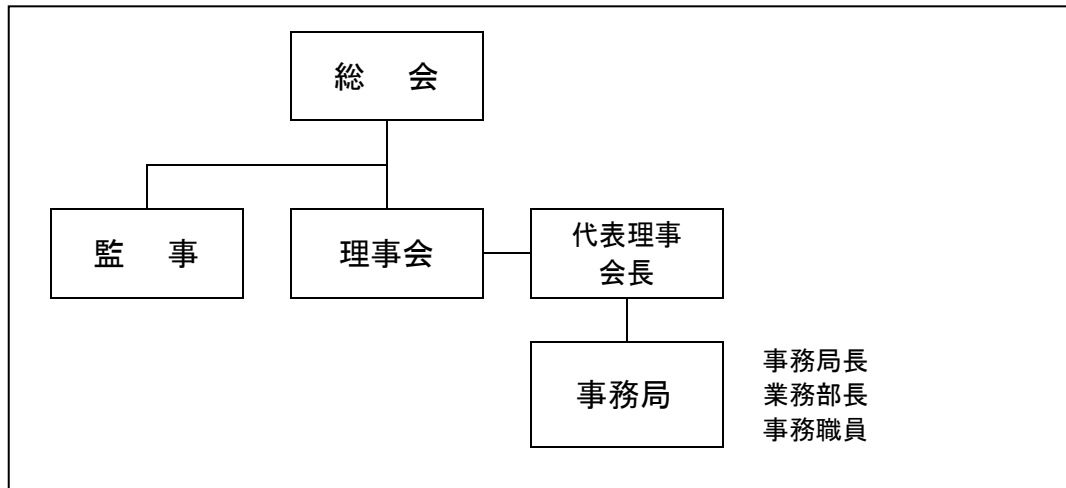
今後、労働人口減少が深刻化すると予想される中、水産業界においても漁業就業者数の減少が著しく、新規就業者の確保がますます重要な課題となっている。

漁業を持続的に発展させるためには新規就業者を安定的に確保すること、将来の担い手となる若者へ漁ろう技術を伝承し育成すること、漁船員の資格取得等スキルの向上、操業中の漁船員の安全対策等に取り組むことが重要である。また、漁業現場を働きやすい環境に改善し、男女問わず新規に就業しやすい職場となるよう継続的に働きかけることが必要である。

令和6年度において、漁業の魅力を多方面に発信し、上記課題に取り組んでいく。

## 第2 組織運営体制

機構図



### 第3 主な事業内容

#### 1 事業方針に基づき下記事業を実施する

##### 1) 国庫補助事業

事業名	概要	金額	実施期間
① 経営体育成総合支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●漁業就業支援フェアの開催</li> <li>●漁業現場での長期研修実施</li> <li>●漁業学校等で学ぶ研修生に対する支援</li> <li>●水産高校等での漁業ガイドンス「漁師の仕事！知る授業」の開催</li> <li>●インターンシップによる現場研修の実施</li> <li>●漁業に係る資格取得講習会及び漁業安全に係る講習会の開催。</li> </ul>	370,079 千円	交付決定日～ 令和7年3月31日
② 漁業担い手確保緊急支援事業 (令和5年度補正予算)		200,843 千円	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日
③ 被災地次世代漁業人材確保支援事業		467,302 千円	交付決定日～ 令和7年3月31日

##### 2) 非補助事業

事業名	概要	金額	実施期間
① インターンシップ助成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水産・海洋系高校等の生徒が、漁業会社（主として一般会員）を訪問し、就業の選択肢として漁業への理解を深める機会を促進</li> <li>●上記にかかる交通費の一部を助成</li> </ul>	300 千円 自己負担	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日

#### 2 水産関係団体に対し、連絡、助言または支援を行う

都道府県に設置された事業実施機関(漁連等)及び賛助会員等と連携し、水産業・漁村の活性化及び漁業経営の安定化を目指す。

#### 3 経営基盤の強化

「一般会員（サポーター）」を引き続き募集し、サポーターを通じ漁業現場のリアルな状況を把握し活動範囲を広げると同時に、当センターの経営基盤を強化する。

【令和6年4月1日会員数（予定）】

○正会員 5名      ○賛助会員 18会社・団体      ○一般会員 42社

#### 4 「漁師の日」の普及活動及び漁師.jpPR パートナーの募集

・令和4年7月、海の日と同日の7月第3月曜日を「漁師の日」と登録した。毎年漁師の日に漁業就業支援フェアを開催することで、イベントの認知度を上げ来場者を増やす狙いと、祝日を漁師の日にすることで漁業従事者にとっては家族と共にゆっくり過ごせる日になることを目的としている。SNSや子供向けのイベントなどを通じ、「漁師」という職業が身近になるよう取り組む。

・令和4年10月より、「漁師.jpPR パートナー」の募集を開始した。同パートナーは業種を問わず様々な方から漁師.jpの活動の普及に協力いただく制度であり令和6年3月27日現在300件の多種多様な会社・個人から登録があった。

「漁師の日」の普及並びにPRパートナーの登録数を増やし、漁師になりたい若者の掘り起こしを行う。

#### 令和6年度収支予算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

一般社団法人 全国漁業就業者確保育成センター  
(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	補助事業会計		
			①経営体育成総合支援事業	②漁業担い手確保緊急支援事業(R5補正)	③被災地次世代漁業人材確保支援事業
<b>I 収入の部</b>					
<b>1. 会費収入</b>	<b>2,190,000</b>	<b>2,190,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(1)正会員会費	50,000	50,000	0	0	0
(2)賛助会員会費	1,430,000	1,430,000	0	0	0
(3)一般会員会費	710,000	710,000	0	0	0
<b>2. 国庫補助金収入</b>	<b>1,038,224,000</b>	<b>0</b>	<b>370,079,000</b>	<b>200,843,000</b>	<b>467,302,000</b>
<b>3. 協賛金</b>	<b>300,000</b>	<b>300,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
当期収入合計(A)	1,040,714,000	2,490,000	370,079,000	200,843,000	467,302,000
前期繰越収支差額	9,700,000	9,700,000	0	0	0
収入合計(B)	1,050,414,000	12,190,000	370,079,000	200,843,000	467,302,000
<b>II 支出の部</b>					
<b>1. 事業費</b>	<b>1,012,524,000</b>	<b>300,000</b>	<b>360,079,000</b>	<b>194,843,000</b>	<b>457,302,000</b>
<b>2. 管理運営費</b>	<b>28,000,000</b>	<b>2,000,000</b>	<b>10,000,000</b>	<b>6,000,000</b>	<b>10,000,000</b>
当期支出合計(C)	1,040,524,000	2,300,000	370,079,000	200,843,000	467,302,000
当期収支差額(A)-(C)	190,000	190,000	0	0	0
次期繰越収支差額(B)-(C)	9,890,000	9,890,000	0	0	0